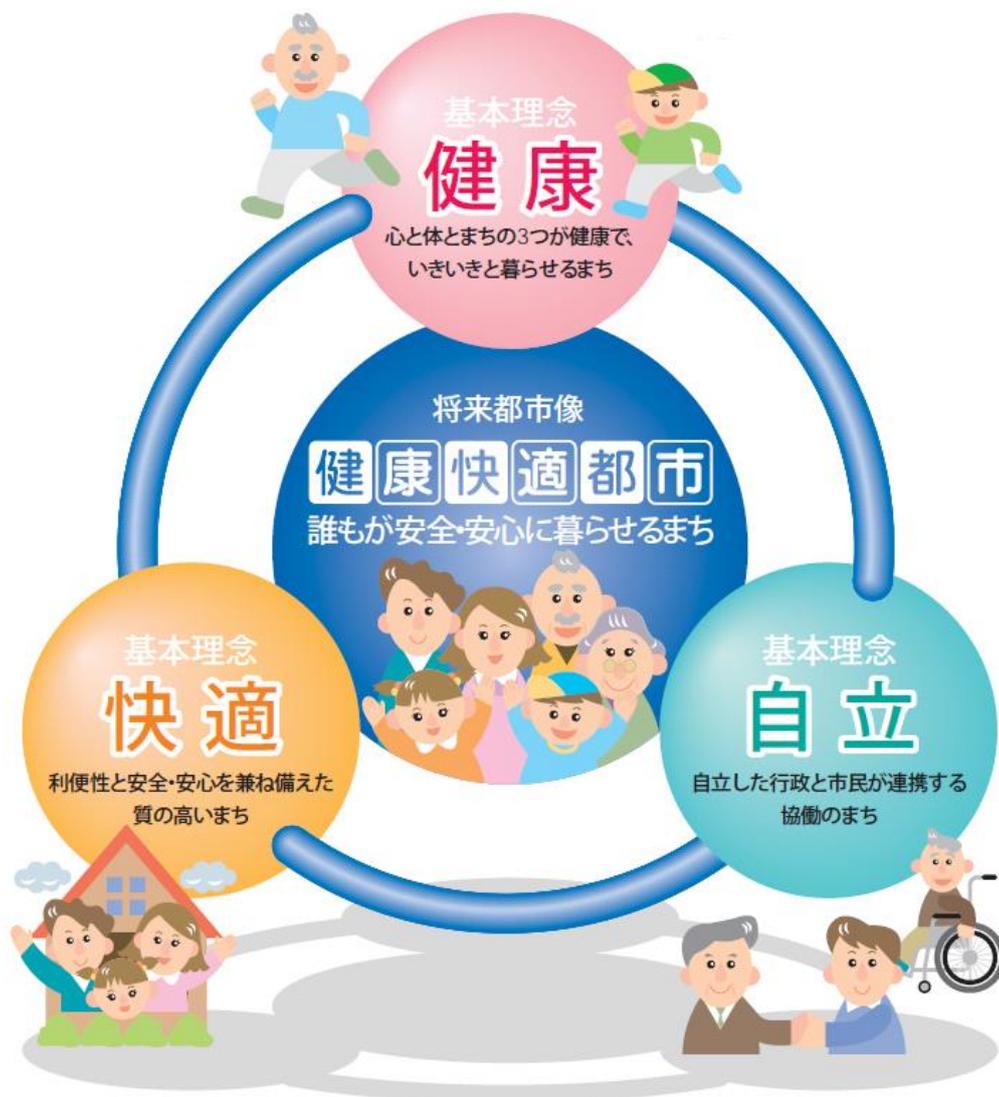


北名古屋市
総合計画

第8次実施計画

【計画期間】平成27年度～平成29年度



平成26年12月
北名古屋市

第8次実施計画の策定にあたって

わが国の財政状況は、いわゆる「アベノミクス」の効果により回復基調が続くかに思われましたが、国内総生産（GDP）が2期連続でマイナス成長であったことにより、消費税率改定が延期されるなど予断を許さない状況にあります。

民間研究機関「日本創成会議」が5月に公表した2040年の人口推計では、全国の自治体の半数近くの896市区町村を、急激な人口減少で自治体機能の存続が難しくなる「消滅可能性都市」とし、地方自治体に大きな衝撃を与えました。また、愛知県においても、来年2015年の747万人をピークに人口が減少すると見込まれており、まさに高齢化・人口減少社会が間近に迫っています。

平成26年9月に発足した第二次安倍改造内閣では「地方創生」を最重要課題とし、高齢化や人口減少などの地方が直面する構造的な課題に対して「これまでとは次元の異なる大胆な政策」を取りまとめ実行することが強調されており、いかにそれらの政策に的確に対応し、地域の力を最大限に発揮できるかが求められています。

北名古屋市誕生から9年が経過しようとしているなか、来年度末には市制施行10周年を迎えます。今回の第8次実施計画の計画期間は、総合計画の最終年度である平成29年度までを対象としており、まさに総合計画実現に向けての計画として、人口構造の変化への対応や財政状況とのバランスなど、さまざまな視点から検証を重ねてまいりました。

「健康快適都市」～誰もが安全・安心に暮らせるまち～の実現に向け、今後も一層、積極的に戦略的な市政の推進に努めてまいりますので、市民の皆さまをはじめ、関係各位の格別のご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月

北名古屋市長 長瀬 保

目 次

第1章 計画の概要

1 自立的な行政経営へ	2
2 計画の基本的な考え方	2
3 計画の体系	5

第2章 重点的な取り組み

主要事業① 庁舎整備事業	8
主要事業② 総合的な防災・減災力の向上	10
主要事業③ 社会基盤施設の長寿命化	12
主要事業④ 医療体制の充実	14
主要事業⑤ 子ども・子育て支援	16
主要事業⑥ 学校教育環境の充実	18
主要事業⑦ 市民協働の推進	20
主要事業⑧ 北名古屋ごみ焼却工場建設準備事業	22

第3章 まちづくり方針別事業計画

1 健康で生きがいを持って暮らせるまちづくり

1-1	健康	26
1-2	医療	30
1-3	児童福祉・次世代育成	32
1-4	高齢者福祉	38
1-5	障害者（児）福祉	44
1-6	低所得者福祉・社会保険	48
1-7	地域福祉	54

2 安全・安心で利便性の高いまちづくり

2-1	防災・消防	58
2-2	交通安全	62
2-3	防犯	64
2-4	生活道路	66
2-5	河川・下水道（雨水）	68
2-6	市街地	72
2-7	幹線道路	76
2-8	公共交通	78
2-9	上水道・下水道（汚水）	80

3 環境にやさしいうるおいのあるまちづくり

3-1	公園・緑地・緑化	84
3-2	景観	86
3-3	環境	88

4 創造的で活力あるまちづくり

4-1	農業	94
4-2	商業・サービス業	96
4-3	工業	98

5 豊かな心を育み文化の薫るまちづくり

5-1	学校教育	100
5-2	生涯学習・青少年育成	106
5-3	スポーツ・レクリエーション	108
5-4	文化・芸術	112
5-5	男女共同参画	114

6 自立と協働のまちづくり

6-1	行政運営	118
6-2	行政改革	122
6-3	広報広聴・情報公開	124
6-4	コミュニティ（自治会・地域活動）	126
6-5	ボランティア・NPO	128

参考資料

○	地価から見る北名古屋市	132
○	第8次実施計画に伴う財政推計	140